

## パブリックコメントの結果について「野々市町子ども読書活動推進計画」

いただいた意見の内容及びその意見に対する考え方は以下のとおりです。

募集期間：平成22年1月20日から2月16日まで

意見件数：8件

番号	意見の内容	意見に対する考え方
1	「3.実施計画」において、「現状と問題点」に挙げた事項が下の「具体的な取り組み」の中で改善に向けた事業や施策として明示されているか検証すべき。 (例)町立図書館の施設的な問題を挙げながら、その改善に向けた施設整備に触れていない。 ※ハード整備を基本方針で明記しながら、全く矛盾している。	「現状と問題点」の内容と「具体的な取り組み」が対応した記述となるように、実施計画の内容を全体的に見直します。 なお、例示されている町立図書館の施設に関しては、「具体的な取り組み(今後に向けて)」の中に、項目として挙げるものとします。
2	「5.推進体制」については、全く意味不明の文章である。推進する主体者は「町」でいいのか。「町教育委員会」ではいけないのか。計画の表題は「町教育委員会」となっているが…。記されている「町」ならば、その内部機関との「連携」はおかしい。「全庁的な推進体制を確立し、関係の〇〇、〇〇と連携」と表記すべきではないか。こうするなら、「庁内の推進組織」と「町内で連携する団体・機関との連絡会」を設置すべきである。これの内容では、この計画をだれが責任をもって推進し点検・評価するか全く明らかになっていない。	全体的に内容を見直し、地域社会全体が参画・連携し、推進するような表現に改めます。 また、町関係機関、幼稚園などの民間施設等からなる連絡会の設置について検討します。
3	「5.推進体制」で計画の期間を記しているが、「1.計画の趣旨」でも期間について記され、重複している。また、だれがどのようにこの計画を評価し見直すのか明記されていない。	ご指摘の計画の期間についての記述は削除します。 また、計画の点検評価は外部評価委員会が行うこととします。
4	「5.推進体制」のボランティア・指導者はだれがこれらを養成するのか主語がない。 また、町立図書館の情報収集と事業展開について記されているが、この程度のことなら、(5)町立図書館の「具体的な取り組み」の中でもう少し詳しく、どんな情報を収集し、だれにどのような目的で提供するのか明記すべきではないか。しかし、計画の進捗状況や評価に係る情報を収集し、必要に応じて(または定期的に、または1年毎に)町教育委員会とか庁内推進組織に報告するという意味ならば、「5.推進体制」にこのように表記すべきである。ともかく、「5.推進体制」は全面的に再考すべきである。	ボランティア・指導者の育成や活用は、各施設が行うことをそれぞれの項目に記載することとし、ここではこの文を削除します。 町立図書館の情報収集と事業展開についての記述は削除します。町関係機関、幼稚園などの民間施設等からなる連絡会を設け、これがその役割を果たします。
5	町内の県立高等学校や特別支援学校の取り組みまで、町立小中学校と同じレベルで記されているが、そこまで具体的に書く必要は無い。それぞれの現状や課題を洗い出しながら、町立の機関の連携や地域住民の活用や交流を前面に出した取り組みに限定すべき。 こうしたことよりも、15歳から18歳の青年層や障害のある人たちの読書の問題を明らかにして、この人たちへの読書支援を地域として、どのような取り組みが必要かふれるべきではないかと強く思う。(一部は、町立図書館の取り組みの中にあるが、現状と問題点が明らかになっていない)	子どもの読書活動を推進するためには、子どもや保護者のみならず「社会全体」が取り組みに関わっていかなくてはなりません。そのため、町内にある県立の学校、私立の幼稚園等にも、読書推進に加わっていただくことが重要です。町では、これらの組織との連携を深め、地域一体となって取り組みを推進していきたいと考えています。 また、「青年に対して」「障害者に対して」の施策を挙げるより、「〇〇〇(施設の名)が××(施策の名)を実施します」と書いた方が、より各施設が責任を持って施策を推進すると思われます。そのため、この計画では各施設が行うことをそれぞれの項目に記載する形を採用したいと考えます。

6	町内にある県立大学図書館、工大ライブラリーセンターについて全く触れられていないが、検討しなかったのか。これら施設と協力の取り組みがあれば、大学のある町「野々市」の独創的な子ども読書活動ができるのではないかと。絶対に検討すべき事項である。	国の活動計画の中にも、子どもの読書活動の推進における大学図書館の役割(相互貸借等)が明記されています。そのため、町立図書館の「具体的な取り組み」の中に、大学図書館からの図書の貸借を追記することを検討します。
7	すでに活動されているかもしれませんが、小学校高学年や中学生が年下の子のために、絵本や本等の読み聞かせ活動をしたらいのではないかと思います。読んだ子は、読むことによって大きな充実感を体験し、聞いた子も、お兄ちゃんお姉ちゃんを目標にして、より多くの本に触れ合う機会になると思います。	子どもが子どもに読み聞かせをする例は、小中学校において、既に取り組まれている所もあります。今後、町内の様々な施設で同様の取り組みが行われるよう、普及に努めます。
8	<p>以前からよく町立図書館を利用させて頂いていますが、他の市町村に比べて、図書館の狭さ、図書が充実していないのには不満があります。(計画書の記載の通り、町内人口に比べても規模がかなり小さいと思われます。)</p> <p>① 自分が見たいと思う本、子どもに読んであげたい絵本などがあって検索してみても無い本が多く、他の図書館で借りてみたり、それもできないときは読むのを諦めたりすることもあります。</p> <p>② 駐車場の数が少なく、空くのを待ったりすることも度々あり、不便です。(利用するのは大抵、土・日ですが。)</p> <p>③ 小さい子どもがいますが、一緒に連れて行くと図書館で静かにするのが難しく、周りの目も気になるため長居できません。家族と車で待たせていることが多くなってしまいました。(乳幼児用の音の漏れない仕切られたスペースがあると嬉しいのですが。)</p> <p>④ (不況のためか)最近では図書館を利用する人もかなり増えているようにも感じ、座る場所も足りていないようにも見えます。</p> <p>この機会に広い図書館の新設もしくは移転と、図書の拡充を強く求めます。小さい子ども向けの落ち着いたスペースも作って頂きたいです。</p>	<p>日頃、町立図書館をご利用いただき、ありがとうございます。現在の施設では、いろいろとご不便をおかけしておりますが、できるだけ子どもたちにとって利用しやすいように、運用面での工夫をしていきたいと考えます。</p> <p>また、将来的に新図書館を整備する際には、ここにご提案いただいた内容も踏まえて、子どもからお年寄りまで、誰にでも利用しやすい図書館づくりを心がけていきたいと考えております。</p>